

参考資料

2015年度中間期 業績の概要

2015年11月12日
ソニー銀行株式会社

損益の状況(1):財務会計ベース

<連結・単体>

金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

(億円)

	<6ヶ月累計>	2014年度 上期	2015年度 上期	前年同期比	
連結	業務粗利益	118	122	+4	+3.9%
	経常利益	32	34	+1	+4.3%
	親会社株主に帰属する 中間純利益	20	22	+1	+9.0%
単体	業務粗利益	106	109	+3	+3.1%
	資金運用収支	82	80	△2	△2.7%
	役務取引等収支	△3	2	+5	—
	その他業務収支	26	27	+0	+1.7%
	営業経費	75	76	+1	+1.6%
	業務純益	31	33	+2	+6.5%
	経常利益	32	33	+1	+4.3%
	中間純利益	20	22	+1	+8.9%

<連結>

● 業務粗利益

前年同期比4億円増加の122億円。
住宅ローンが好調に推移したことに加え、
為替相場の変動を受けて外貨関連取引に係る
収益(外国為替売買益)も増加した。

● 経常利益

同1億円増加の34億円。

● 親会社株主に帰属する中間純利益

同1億円増加の22億円。

<単体>

● 業務粗利益

同3億円増加の109億円。
住宅ローンに係る手数料収入の増加により
役務取引等収支が改善した。

● 経常利益

同1億円増加の33億円。

● 中間純利益

同1億円増加の22億円。

損益の状況(2): 社内管理ベース

<単体>

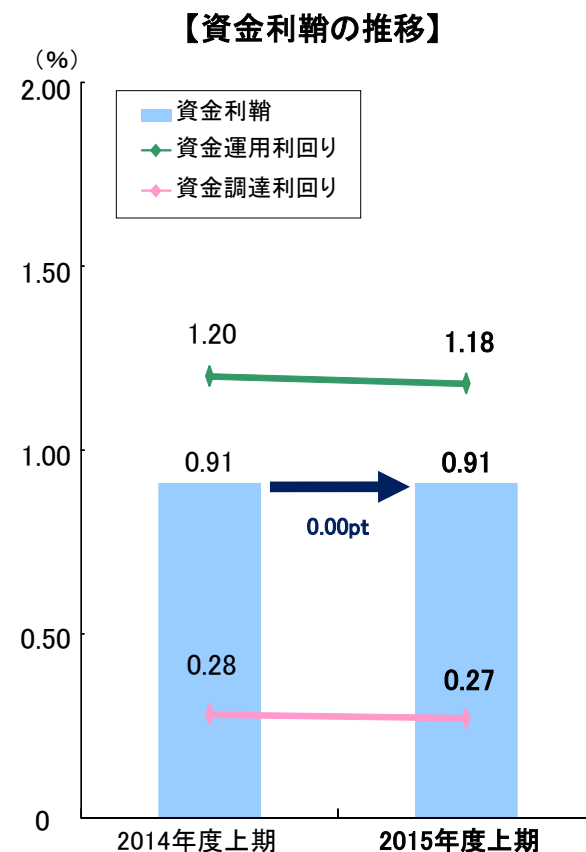
- コアベース業務粗利益は、住宅ローンの好調とお客さまの外貨預金取引に伴う手数料収入が増加したことにより、前年同期比8億円増加し99億円。
- 資金利鞘は0.91%と一定の水準を確保。

(億円)

<6ヶ月累計>	2014年度 上期	2015年度 上期	前年同期比	
			金額	増減率
業務粗利益	106	109	+3	+3.2%
資金収支*1①	90	91	+1	+1.6%
手数料等収支*2②	0	7	+6	—
その他収支*3	15	10	△5	△32.7%
コアベース業務粗利益(A) =①+②	90	99	+8	+9.3%
営業経費等③	74	76	+2	+3.6%
コアベース業務純益 = (A) - ③	16	22	+5	+34.5%

金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

- 社内管理ベース 損益の実態をより適切に表すよう、財務会計ベースに以下の調整を加えたもの
 - *1 資金収支…資金運用収支+その他業務収支に計上されている実質的な資金運用にかかる損益(為替スワップ収益等)
 - *2 手数料等収支…役員取引等収支+その他業務収支に計上されているお客さまとの外貨売買取引にかかる収益
 - *3 その他収支…その他業務収支より*1と*2の調整分を控除したもの。主な内容は債券関係損益およびデリバティブ関連損益
- コアベース 社内管理ベースのその他収支(主に債券関係損益およびデリバティブ関連損益)を除いたもので、当社の基礎的な収益を表すもの



預金の状況

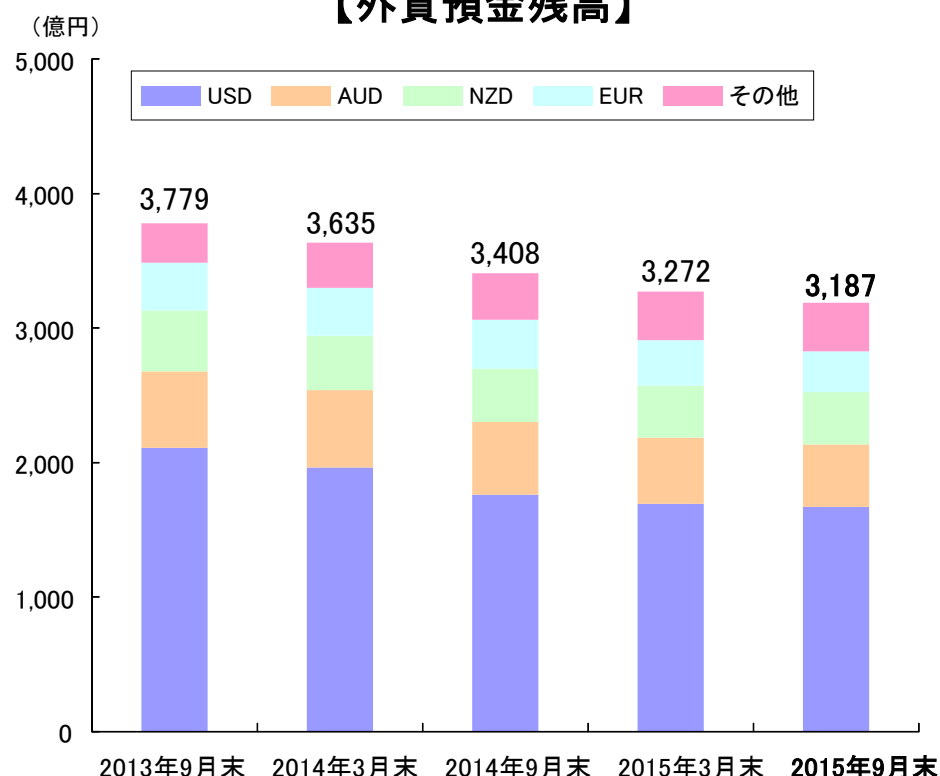
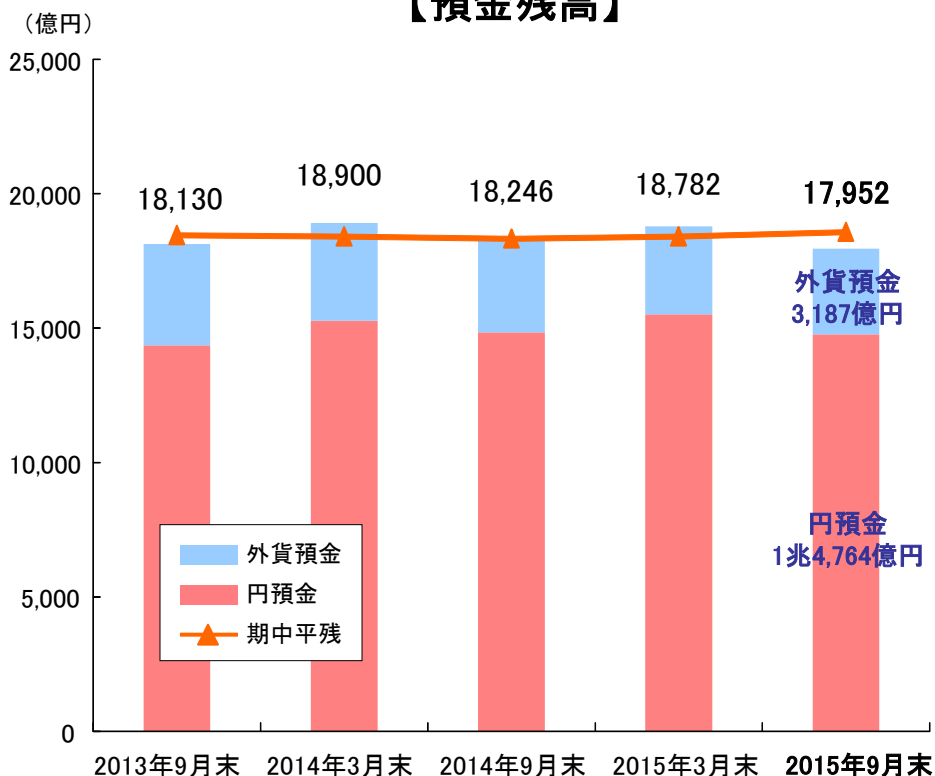
<単体>

- 預金残高は前年度末比830億円減少の1兆7,952億円。円預金残高は収益性を重視した金利提示を行ったことから減少。外貨預金残高は為替市場が円高に振れたことに伴う円換算の影響で減少。
- 2015年9月末の預かり資産残高(預金+投資信託)は1兆9,157億円。口座数は108万件。

金額は億円未満切捨てで表示

【預金残高】

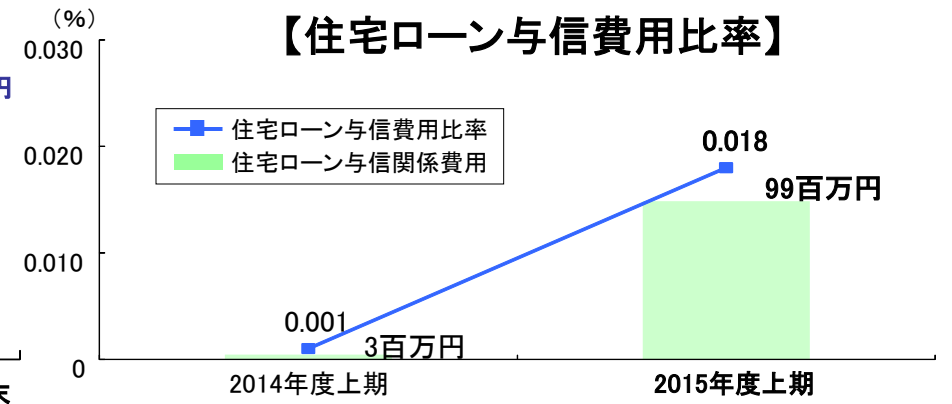
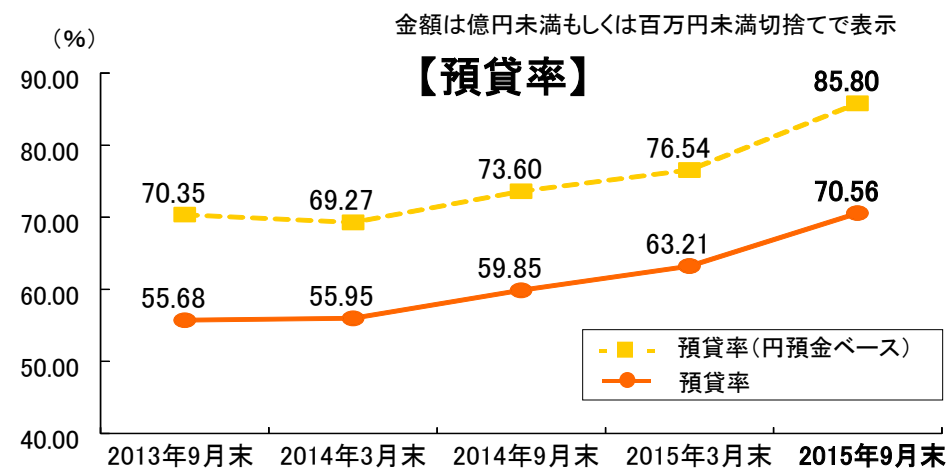
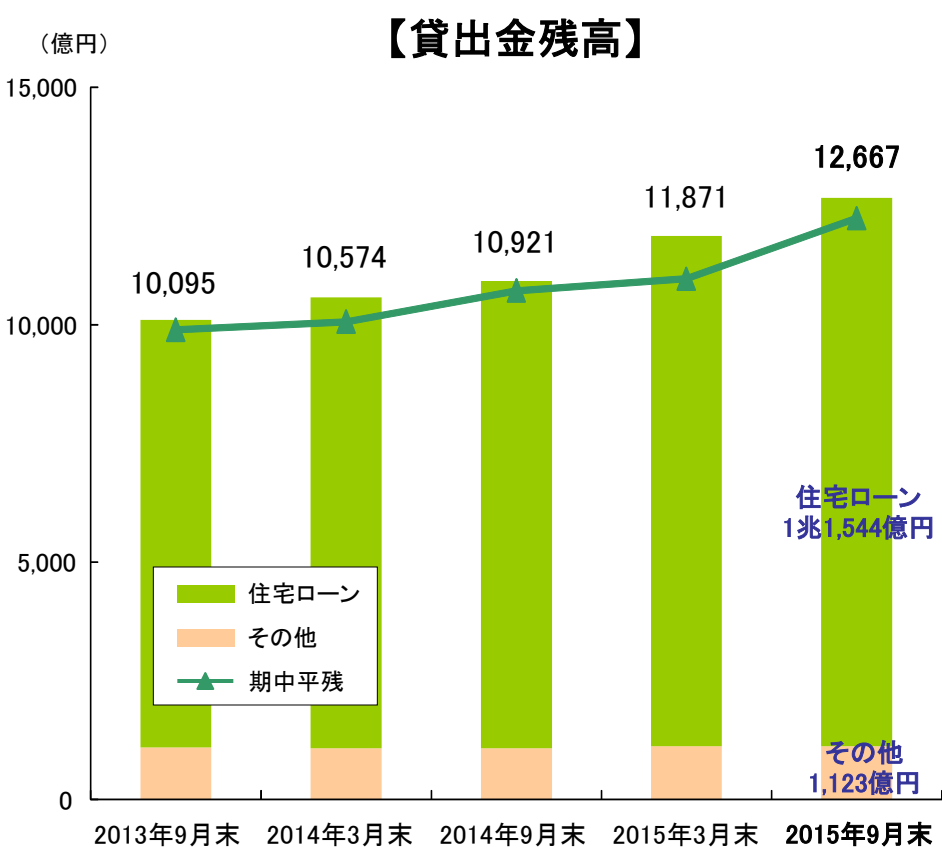
【外貨預金残高】



貸出金の状況

<単体>

- 貸出金残高は住宅ローンを好調に積み上げ、前年度末比795億円増加の1兆2,667億円。預貸率は70.56%と着実に向上。
- 住宅ローン与信費用比率は引き続き低水準を維持。



● 住宅ローン与信費用比率(年率換算) = 住宅ローン与信関係費用 ÷ 住宅ローン平残
 ● 住宅ローン与信関係費用 = 貸出金償却(住宅ローン) + 貸倒引当金繰入額(住宅ローン)

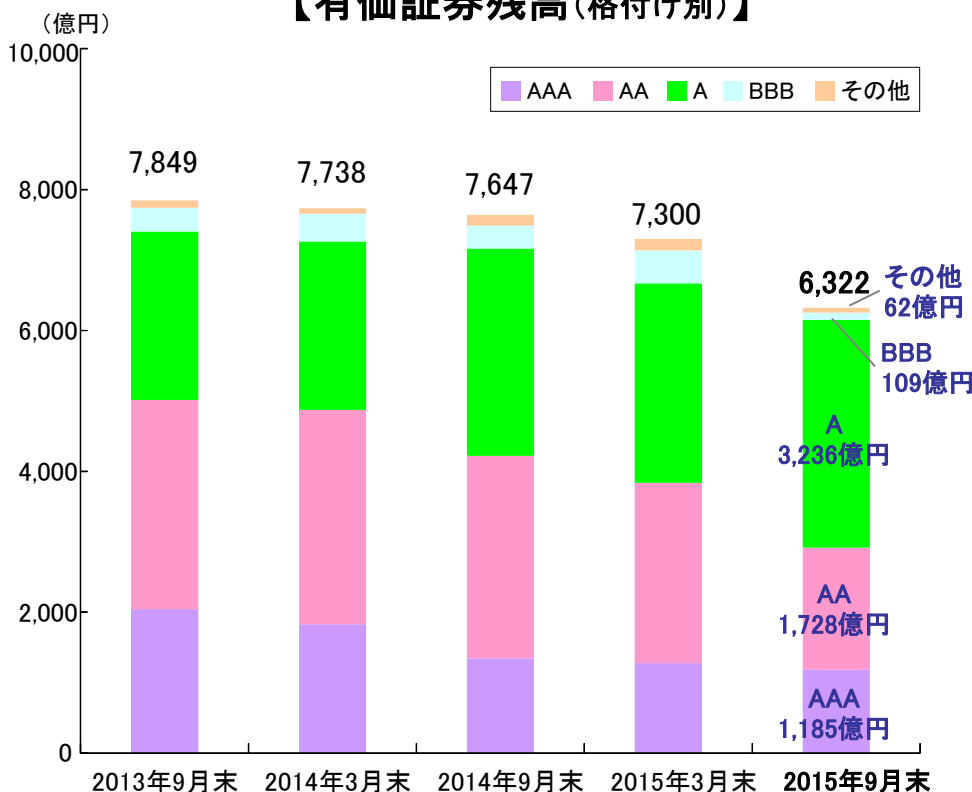
有価証券の状況

< 単体 >

- 有価証券は、高格付けの債券で安定的に運用。引き続き、AAA～A格の債券が全体の9割強を占める。残高は前年度末比977億円減少の6,322億円。
- その他有価証券評価差額金(税効果会計適用前)は40億円。

金額は億円未満切捨てで表示

【有価証券残高(格付け別)】



【その他有価証券の内訳】

(億円)

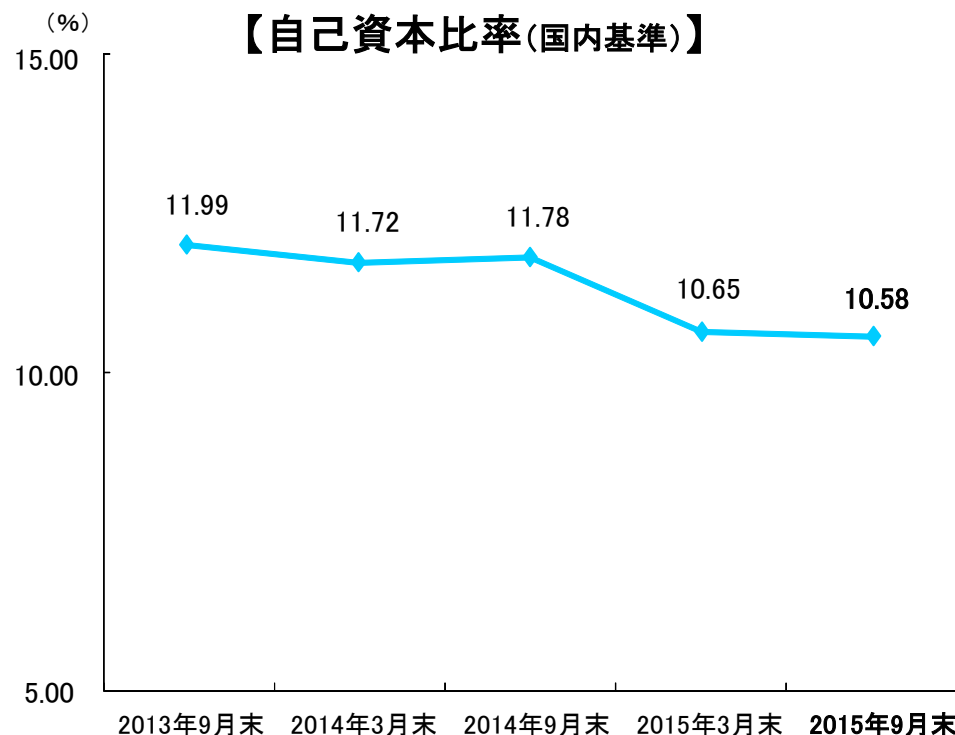
	2015年3月末	2015年9月末
債券	2,390	1,815
国債	749	746
地方債	566	378
社債	1,074	690
その他	4,806	4,403
外国債券	4,761	4,361
その他の証券	45	41
合計	7,196	6,219
< その他有価証券評価差額金 (税効果会計適用前) >	< 87 >	< 40 >

※時価のあるその他有価証券の貸借対照表計上額内訳
 その他有価証券評価差額金(税効果会計適用前)の金額は億円未満四捨五入で表示

自己資本比率・格付け情報

<単体>

● 自己資本比率は10.58%と健全な水準を維持。



【格付け(2015年9月末現在)】

スタンダード&プアーズ	
長期カウンターパーティ格付け「A」	アウトルック「安定的」
短期カウンターパーティ格付け「A-1」	
日本格付研究所	
長期発行体格付「AA-	見通し「安定的」

※平成18年金融庁告示第19号「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準」に基づき算出。なお、2014年3月末より、バーゼルⅢベースへ移行。

2015年4月以降の主なサービス拡充施策(2015年10月発表分まで)

● 外貨預金・FX～外貨をもっと自由に～

- ・11通貨対応のVisaデビット付きキャッシュカード「Sony Bank WALLET」の先行受け付けを開始
(2015年10月)
- ・FXについて、取引通貨ペアの拡充や取引画面の刷新などによるリニューアルを実施(2015年6月)
- ・外貨送金(被仕向け送金)の受け取り手続きをWeb化(2015年10月)

● 円預金・投資信託～商品ラインアップを強化～

- ・募集方式の満期日繰り上げ特約付き仕組み預金「円定期plus+」の取り扱いを開始(2015年6月)
- ・NISAでもご利用いただけるファンドを追加(2015年8月)

● ローン商品～お客さまの多様な資金ニーズに対応～

- ・インターネットで契約手続きが完結する新たなカードローンの取り扱いを開始(2015年7月)

● その他のサービス～より便利にご利用いただくために～

- ・スマートフォンサイトの取引メニューを拡充し、積み立て定期預金や暗証番号の再設定手続きなどに対応
(2015年8月)
- ・楽天カードなどの口座振替申し込み手続きをWeb化(2015年7月)